



かもめ広場だより VOL. 6

2016年7月1日発行
 一般社団法人横須賀市医師会
 在宅医療推進連携拠点「かもめ広場」
 〒238-0005 神奈川県横須賀市新港町1-11
 ☎ 046-824-6430

安心して在宅医療を受けられる体制作り Part.2

横須賀市医師会のホームページに在宅医療の頁ができました !!

横須賀市医師会では、在宅医療に関する情報を、会員・関係職種・市民の皆様幅広く提供するため、横須賀市医師会ホームページに在宅医療の頁を設けました。

この頁では、当医師会の在宅医療への取組みの様子や、研修会・講演会などをご案内しています。

また、横須賀市内で在宅医療を実施している医療機関を検索出来るよう「在宅医療実施医療機関検索システム」の運用も開始しました。往診に来てほしい住所・診療科目・診療内容等の条件や、医療機関名、地図情報などから、在宅医療実施医療機関を検索することができます。

在宅主治医のみならず協力医や専門医の参加もあり、市民の為だけではなく、病診連携・診診連携・関係職種連携の拡大や強化につながることを目指しています。

あわせて、当医師会で進めている「在宅患者入院支援登録システム」や「在宅医療・介護情報共有システム『かもめネット』」の各種書式をダウンロードすることもできますので、ご活用下さい。

《 検索方法 》

- ① 横須賀市医師会ホームページを開く
- ② 在宅医療の頁に入る
- ③ 「在宅診療を行っている医療機関のご案内」検索する」をクリック
- ④ 検索条件を入力
- ⑤ 検索結果が表示される
- ⑥ 必要に応じて印刷も可能です



多職種合同研修会を開催しました！

6月16日(木)に横須賀市生涯学習センターに於いて、多職種合同研修会を開催しました。今年『患者さん・利用者さんの行き過ぎた要求にどう対応していますか？あなたの「困った」を共有しましょう』をテーマに、約200名の参加がありました。ワールドカフェでは、活発な意見交換が行われ、すぐに解決できなくても職種をこえて課題を共有することにより、業務でのストレスが緩和され、根気よく支援する勇気を得る機会となりました。



在宅医療ネットワークミーティングのお知らせ♪

「苦手意識」から「関わる自信」へ！ 人生最終段階をケアできる人材育成プログラム『エンドオブライフ・ケア援助者養成講座』を開催します♪

人生の最終段階にある人やその家族と関わる事を苦手と感じる人は少なくありません。日に日に食事が少なくなり、やがて寝ついていく人と、どのように関わってよいのかわからない援助者が、自信を持って支援にあたるようになることを目的として2日間の講座を開催します。

【開催日】 9月17日(土)・18日(日) (16時間)

【会場】 横須賀市医師会館 大会議室

【内容】 ①人生の最終段階に共通する自然経過、自宅・介護施設で求められる症状緩和や意思決定支援の基礎知識を学び、援助者として基本的な関わりができる
②1対1での対人援助の基本として「援助的コミュニケーション」の技法を学び、ロールプレイを通じて実践できる
③多職種連携で行う援助として「援助を言葉にする」ことを学び、事例検討を通じて実践する

【講師】 エンドオブライフ・ケア協会理事、めぐみ在宅クリニック院長 小澤 竹俊 先生

【対象】 医師 歯科医師 薬剤師 訪問看護師 診療所看護師 ケアマネージャー など

【受講料】 2,000円(テキスト代のみ) (通常は32,400円の受講料が必要となります)

✿ かわいいご案内は改めて行います。多数のご応募をお待ちしております ✿

What's new!

「黒船村」について

平成27年9月に「東地区ブロック簡易版在宅支援ネットワーク」、愛称「黒船村」を立ち上げました。業務は、①在宅医、臨時在宅医の検索を一本化する、②在宅に関わるアドバイスを気楽に受けられる体制を整える、ですが在宅医を増やすことが究極の目的となります。仕組みは村人(多職種)が、村役場(よこすか浦賀病院地域連携室)へ電話で相談すると、かもめネット内にある「黒船村役場の部屋」へ情報が流れ、村役(幹事である三屋、土田、磯崎)がネット上で協議し、村役場へ結果を報告し、村人へ返事をするという流れとなります。現在まで運用実績は1名ですが、黒船村のモットーはゆるく、ゆっくり進化♪ですので、改良を加えながら使い勝手のいいシステムを構築していきたいと思えます。

尚、村長は初代越川尚男先生から、二代目阿部裕先生へ引き継がれました。

黒船村村役(三屋内科 院長) 三屋 公紀